

【副島先生の最新言論から2019年の金融を考える！】

⇒PDFの33ページより

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX新案件！】

【注目】5万円のFX自動売買ソフトが100ソフト以上、無料に！？

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

深く学ぶためのゆうPDFレポート

【タダで【自動売買で長期的に利益を上げる方法】

というプレゼント動画をもらえます！】

(EA=自動売買の本当の組み方、思想をPDF解説してます)

⇒ http://fxgod.net/pdf/ea_shisou.pdf

(華僑や最近の新興富裕層が意識してる

資産曲線平準化の話など)

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです！

読者さん、こんにちは！！

さて、2018年も終わりになりますね～

それで、この数日世間ではもう 株式市場が大暴落した

ということで色々日本では報道されてるようですが

つい先日、私も長く学ばせていただいている
副島先生が最新の金融言論をアップされてました！

ちなみに副島先生はつい11月くらいに

「トランプ暴落」前夜 という書籍を出されて
中間選挙後に暴落するシナリオを描かれていましたが
(本格的暴落はやはり2024年だというのが
副島先生の今の見立て)

これは以前にメルマガでも副島先生のその言論を
扱っていたので
暴落は想定して準備されていた方が多いと思います。

以前に大変素晴らしい、
日本でトップレベルのトレーダーで
投資家でもある野田さんがシナリオ想定的重要性を
語っていたものですが

本当に想定しておくのは大事というか
生きる本当の知恵だと、私は思います。

それで、今日はまた私のメルマガでよく扱う
副島先生の新しい言論が
ありますから、

シナリオを長期で作るのに参考になるでしょうから
学びましょう！

編集後記で！



**【注目】5万円のFX自動売買ソフトが
100ソフト以上、無料に!?**



さて、昨日書いた内容は以下でPDFにしていますので
参考にされてください!

**PDF【タダで【自動売買で長期的に利益を上げる方法】
というプレゼント動画をもらえます!】**

(EA = 自動売買の本当の組み方、思想をPDF解説しています)

⇒ http://fxgod.net/pdf/ea_shisou.pdf

さて、最近投資系に関しては

相当内容が鋭いものが出ていますが

これもまたすごいレベルが高いので

「依存心高い情弱用じゃなくて

自立心ある情報強者向けの情報」なので

読者さんの運用の武器になることでしょう

【5万円の自動売買ソフトが100ソフト以上、無料に！】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

さて、今日はこちらの案件を担当している

太田さんおよび講師の佐々木さんから

読者さんにメッセージです！

=====

【5万円の自動売買ソフトが 100 ソフト以上、無料に！

「自動売買が全て無料になる」】

**今まで自動売買ソフトを買っていた人には
怒られてしまうような話です。**

自動売買ソフトは 3~10 万円。

**約 50 万円かかるポートフォリオを
無料で作成できる上に
量産までしているのです。**

**50 万円の費用がまるまる浮くわけですから
投資金額の増えるスピードが
飛躍的に上がることは想像できると思います。**

知るだけで 50 万円、100 万円と
お得になってしまう仕組みです。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

秘密は、動画を観ればご理解いただけますが
少しだけ秘密を公開すると

「通常約 50 万円かかる自動売買のポートフォリオを
無料で作って週に 1 回の調整」

です。

この秘密の仕組みを使うことによって
約 50 万円がタダになるため
収益の上がるポートフォリオを大量生産できます。

一度作ってしまえばあとは放置。

トレード経験は一切関係なし。

**システムを組み、稼働をクリックするだけで
いきなり収益が生まれるのが特長です。**

**あなたは毎日口座に積み上がる額を
確認するだけ。**

**「その仕組みを知りたい！」
と正直に思ったあなたは、
感度が非常に優れています。**

**すぐにでも下記の情報を確認し
約 50 万円のポートフォリオがただになる
仕組みの秘密をご確認ください。**

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>



“裁量トレードで勝つ人は1割”
“自動売買トレードで勝つ人は5割”



そして読者さんは

“裁量トレードで勝つ人は1割”
“自動売買トレードで勝つ人は5割”

という格言をご存知でしょうか？

裁量トレードはその言葉通り
裁量がメインになりますので
個人の感覚が重要になります。

自動売買はソフトを稼働させるだけなので
勝つも負けるもソフト次第。

正しく使えば半分の人は勝つのです。

しかし、私はこの確率を
大きく上回る方法を発見しました。

自動売買マネジメントです。

自動売買は週に1回、5分間だけ調整を加えると
パフォーマンスが鬼のように上がります。

取り組んだ人の全員が結果が出ているため

“自動売買マネジメントで勝つ人は10割”

という格言を追加しても良いでしょう。

このマネジメント法を確立してからは
必死でチャートとにらめっこしながら
神経をすり減らしている人を横目に
何もせずに毎日資産を増加させています。

トレードは自分でやるから負けるのです。

トレードは機械に任せましょう。

楽ですし、勝てます。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

=====

以上です！！

ちなみにこの案件ですが実は以前すでに

稼動していたFX系の案件なんですが

かなり多くの生徒さんが結果出したんですね。

200名ほどの方が結果出したってことで

結構これまたすごい人数で結果出したという案件です。

たまに1000人以上塾生としていれてる塾があるけど

そこで成功するのは本当に10人いるかないか、

だけどこの案件は募集人数はその数分の1だったにも

かかわらず稼いでる生徒が7桁台出てるってところがすごい、

という内容でさらには 上記の太田さんなんか

絡んでる案件はサポートがめちゃくちゃ強いです。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

それでたぶんトレーダーの常識としてあるのが

「FXの自動売買は負ける」ってものだと思うんですね。

ただ実は自動売買を「組み合わせて」それぞれ

数十個組み合わせてそれでポートフォリオというのですが

リスクヘッジをその数十個の自動売買でしていった

そこで利益を上げている人たちってのがいるんですね。

私の友人なんかそうなんですけどたとえば

オフショア地域でファンド運用している友人がいて

彼なんかは社長たちのお金を預かって海外で運用している人間で

日本人ではないのですが

彼なんかがしているのが自動売買ソフトをもう40個以上組み合わせる

んですね。

日本の自動売買ってのはちょっと使えないものが多いので

彼が使うのが海外EAが多いのですが

これらを相場状況に合わせてオンオフをしていくんですね。

それで彼の場合はほんと8年ほど

ずーっと月利5%~10%を

出していて複利がかかっていまや大金持ちなんだけど、

実は「プロの自動売買ソフトの運用方法」というのがあ

~~~~~

これを今回は教えてもらえるという案件ですね。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

だからよくある「自動売買でほったらかしで10万円が1億円に！」

みたいな案件とはかなり違います。

そういうのはやはり情報弱者用というか

だまされる側の人用のものですね・・・

どっちかというやはりプロがやってるのが

~~~~~

~

「裁量+自動売買」になるわけですね。

~~~~~

E Aポートフォリオの組み方に「裁量」が入るわけです。

自動売買でもそれこそトレンド相場に強い自動売買であったり

逆に指標発表の急激な動きに強い自動売買であったり、

レンジ相場に強い自動売買ソフトであったり

特別な通貨ペアに絞って利益が上がりやすい自動売買ソフトであったり

NY 時間に強い自動売買であったり、アジア時間に強い自動売買であったり

実はそれぞれ特徴、があるんですね。

今回の案件というのは なかなか教えてもらえないことのない

その「自動売買をどう組み合わせ、そしてどこでオンオフしていくのか」

みたいなのところを生徒さんに教えている案件でして

ここで生徒さんが相当数利益があがるようになっている



という結構すごい案件です。

~~~~~

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

それで今回はプロがやってる方法でして

自動売買で長期的に利益を残す

、

資産運用を確立いただけるようにプログラムが構成されています。

それで通常自動売買でやってる個人投資家って

一部を除いて、おそらく90%というか98%以上が

負けてるんじゃないかな??

というのが現状かもしれませんが

実は残りのほんの1%とか2%の人たちだけが

この自動売買を適用するスキルを使って大もうけしている事実は

あるわけですね。

今回は

自動売買でなぜ負ける？なぜ勝てない？

どうすれば勝てるのか？

の「具体的根拠と方法」を教えてくださいということです。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

たぶんこれ見たら巷にあふれる

「自動売買でほったらかしで資産がばんばんふえていく～」

みたいなものが完全に情弱向け、というのが分かると思います。

ファンドの人たちってのは自動売買を常にメンテナンスしていて

それを相場の特徴ごとに当てはめてそれを

いくつも組み合わせてリスクをヘッジして

利益を出してるわけでした

ほったらかしで自動売買なんてのはしてないですね。

「メンテナンス」という作業を介しているわけです。

それで今回の案件は

通常1つ3～10万円は費用がかかる自動売買ソフトを
『無料』で『100個以上』
利用する方法を教えてください。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

、

それで事務局の方が

この案件でおっしゃってるのは以下のようなことです。

=====

「自動売買ソフト」は無料のものから
有料のものまで世の中にたくさんリリースされています。

無料・有料ともにそのソフトの良し悪し

、

長所短所があるのはご存知の通りですが

一口に

「自動売買でポートフォリオを組んでより安定した利益を実現したい」

といっても 一般の方がこういった
タイプの自動売買ソフトを選び

、

また

、

こういった組み合わせを行うのか

、

などと集中的に教えてくれるスクールや 塾といったものは

、

他にはなかなか存在しないものかと思います。

また自動売買ソフトは有料のもので購入すると

1ソフトあたり『3～10万円以上』

とポートフォリオを理解していても

、

実際に始めるには「50万円～」と

、トレード資金並みに初期費用がかかってしまいます。

『自動売買マネジメント講座』では
ある方法を利用することにより

、

本来どうしてもかかってしまうであろう

「初期費用」を「無料」にすることができ

、

且つ具体的にポートフォリオの構築を実現いたしました

。

=====

ということでした。

それですでに生徒さんがかなり結果出しているってのが

すごいところで

結果として相当数の方が結果を出してきてるという

これまたすごいFX系の案件です。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

それでこの講師さんですが

プロフィールが以下のようなプロフィールで

以前のプロフィールで今は月300万円⇒500万円ほどに

増えてるようですが

=====

元システムエンジニア。

サラリーマン時代にFXの裁量トレードで200万円の損失を出すも

FX可能性を信じ、自動売買の研究を始める。

自動売買トレードの運用スキルを研究するうちに

ポートフォリオの優位性を発見。

その後、自動売買のみで月収300万円を達成し、
自動売買トレーダーとして独立。

自動売買ソフトの開発にも長けており
自身が開発した自動売買ソフトは
とある販売サイトの年間ランキングで1位を獲得。

自動売買の可能性を世に広めるべく
自動売買トレードを教える講座を開催。

200名超が参加し、200名のほぼ全員を
自動売買トレーダーとして稼がせている。

=====

という感じでして、結構すごい方です。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

それで重要なことがあってこれは実は

FXの裁量やってる方だったら分かると思うのですが

巷では「10万円が1億円に～」とかよく自動売買の

LPであったりするのですが

やはり考え方が違うんですね。

どういう組み合わせ方をするか？というと

~~~~~

「どうやって組み合わせたら負けないか？負ける確率を減らせるか？」

~~~~~

という相場思想なんですね。

~~~~~

たぶん、自動売買って多くの方が「勝つため」にやるんです。

けどウォーレンバフェットが

おっしゃってますでしょ。

「負けないことを最初に考えるべきだ」と。

実はこれ株とFXで金融商品は違っても同じことで

自動売買の組み合わせも

「どうやったら負けづらいか？」という思想で

ポートフォリオを組んでいくわけです。

ちなみに昨日華僑の話で

「波と波をあわせる」ということを書きましたが

この佐々木さんなんかもEAの収益ポートフォリオの「波」

をあわせるという思想を使いますね。

(講師さんの場合は、波と波を融合して  
シュミレーションできるツールが  
あるんだけどそれも駆使して、生徒に教えてます)

だから通常の自動売買を使ってる個人投資家と  
自動売買で「安定して」月収300~500万円以上

稼いでる佐々木さんの

自動売買に対する「思想」ですね、これは全く違うんです。

私はこの辺が学べるのでとても良いFXの案件だと思いました。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

だから実は自動売買だろうとなんだらうと

結局裁量の リスクとリワードでリスクから考えましょうとか

資金管理は損失 2%までとかですね、

あとは「今の相場がレンジかトレンドか判断する」とか

これは実は自動売買でも一緒、なんですね。

ちなみに、具体的な方法を書きますとですね、

たとえば 4 時間足で

買いならばレンジ内の上限レジスタンスを 2 回アタックして

その後結局アタック失敗して レンジ下限を突き抜けるも、

それが騙して 再度レンジ内に戻ってきて上昇してきて

3 回目で「ブレイク」ってのがありました。

このチャートパターンはもうほんとよく出てくるので

覚えておかないといけません。

それで「重要ラインをブレイク」したとします。

レジスタンスアタックの後のアタック後、

上記のようなプライスアクションを形成して

ブレイクすると結構その後、

大きく伸びる確率が非常に高いのですね。

これが見えてる人ってのはたとえば自動売買でレンジ相場用の

自動売買を稼働させていてもオフにできるわけです。

逆にこれが見えていない人は、初心者が多いけど

そういう人は自動売買でオンのままで損失が拡大しちゃうわけですね。

「じゃあここで負けないようにするにはどうすればいいか？」

ですけど

ひとつにはレンジ用 EA をそこでオフにするってのもありますが

もしそれを監視する時間がない場合、

たとえばひとつの事例として、レンジ付近で

エントリーするブレイクアウト狙いの損失が小さく利益幅が大きい

EA をレンジ相場用と

同時稼働させておけば

若干レンジ用 EA と比べるとストップが浅い EA なら

ロット数は増やせるわけですが

こっちではレンジ用 EA でブレイクして損失出てる以上に

利益が出るんですね。

こうやってなるべく、

高い確率で「負けない」組み合わせというのが

~~~~~

自動売買では可能なんですね。

~~~~~

今回の佐々木さんの案件はそういった

「本当にちゃんと負けないそして「結果として」

利益が計上できる プロの「複数の自動売買をあわせた運用方法」

を学べる講座」になっております。

だからあくまで勝つためというよりは

「負けないためにどう自動売買を利用するか？」

~~~~~

という思想がある案件なので

今生徒さんがどんどん結果出してきている

という案件ですね。

だから非常に面白い案件でして

生徒さんの実績もしっかり出ている

実力ある案件です！

ということなので読者さんのこれまた来年の

運用に強力な知識になると思いますから

ぜひどんどんその知識を読者さんのものに

してみてくださいね～

【5万円の自動売買ソフトが100ソフト以上、無料に！】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26>

=====編集後記=====

さてさて、年末はなかなか面白い相場になっていて

暴落が世間を賑わしました。

ただテクニカル的には例えばドル円なんかが

月足で単純に見ると

水平線ゾーンと、また2012年9月あたりからの

上昇トレンドラインのゾーンが重なったところで警戒されてた

ところでしたが

一度そこで跳ね返されて110円台にまた円が強くなるという

感じでした。

逆に非常に注目の以前抜けた下降トレンドラインゾーンに一度

回帰してるのでこの辺の動きは

注目ですよね～

ちなみに日経平均なんかも相当下げましたが

それが世間を相当にぎわせておりました。

それで、これに関しては副島先生なんかが新刊の金融本で

あらかじめシナリオ想定されていた流れで

展開しているのですが

(たとえばドル円なんかは 米日欧で 110円前後で

緩やかにとどめておく密約がある、なんて話も書かれていたけど

テクニカルと符号は現時点ではしてますね)

予測とか予知はできない、というのが私の立場ですが

まあシナリオ想定してそれに準備しておくのは大事だなと

思った次第です。

それで全てにおいて100%はないのですが

副島先生が描くシナリオは私たちに色々な長期のアイデアを

与えてくれますから

今日はそれを学びましょう！

それで私なんかはこの数日色々市場の動き見ていたのですが、

確かに暴落なのですが、

やはり第2のリーマンショックレベルのものではないだろうな

という感じでは見えています。

これも100%じゃないので

誰も分からないんですけどね。

ただ2019年からこんな相場が沢山出てくるわけですね。

それで副島先生の書き込みは毎回ながらずばずば書くので

過激に感じる人も多いでしょうけど

やはり勉強になると私は考えますので

重たい掲示板に投稿された

副島先生の書き込みを見てみましょう。



=====

金融市場は大丈夫。狼狽（うろた）えないで、

安心して年を越しなさい。 それとミカ・ブレジンスキーの発言。

投稿者：副島隆彦

副島隆彦です。

今日は、2018年12月24日（月）です。

日本もアメリカも、株価が、どんどん落ちて大変だ。

投資家たちは、慌てふためいている。

自分の大切な資金（おカネ）を、株式市場に突っ込んで、
そして、「（諸般＝しよはん＝の事情で）
逃げられなくなっている（売るに売れない）」人たちが、
血相を変えている。

だが、ここで、副島隆彦は、はっきり書いておきます。

アメリカも、日本も、そしてヨーロッパも、
今はまだ、金融市場が壊れる、崩壊を始める、ということはありません。

あとで、ずっと最後の方に、最新の新聞記事を何本か貼り付けて載せます。
それほどのパニック（精神の恐慌状態）に陥る必要はありません。

どうも、投資家、資産家の一部に、

流言飛語（りゅうげんひご）が、飛び交っていて、
「金融危機が、もうすぐ来る」という、
扇動言論が巷（ちまた）に飛び交っているらしい。

さらには、金（きん、ゴールド）まで暴落する、と、
愚か極まりないことを、言って回っている
（ SNS とかに書き込んでいる）悪質な人間たちが、
出て来ているようだ。気をつけて下さい。

金（きん）価格が暴落することなど、ありません。

~~~~~

この不安定な状態では、  
“ 実物資産（じつぶつしさん。タンジブル・アセット  
tangible asset）の王者”である 金（きん）は、じわじわと上がり続けま  
す。

株式や、為替や、債券（ボンド））や投資信託（ファンド）の  
リスク・オン市場から、逃げ出して（リスク・オフする）、  
金の現物（げんぶつ）市場に、逃避、避難する。

今の「株式市場が崩壊する」という流言飛語の  
発信源、震源地のひとつは、何と、私が、去る 11 月初に書いて出した、  
「トランプ暴落 前夜」（祥伝社=しょうでんしゃ=刊）だ、と、  
私に、教えてくれた人たちがいます。

それで、私は、急いで、ここに書きます。  
安心しなさい。今、急に、金融危機が起きて、  
株式市場が崩壊を始める、ということはありません。

副島隆彦です。今の、日、米そしてヨーロッパの、  
株崩れ程度で、ヒドく青ざめている人たちがいるらしい。

こんなものは、水準訂正（すいじゅんていせい）と言って、  
これまでの2年間で、投機（スペキュレーション）で、

あまりに、急激に上がりすぎた株価が、  
元の状態に戻りつつあるだけだ。

今、パニック状態になって、慌てている人たちは、  
元々、株式投資などするべきではない人たちだ。

NYの株価は、10月初には、27000ドル直前までいていた。  
そこから5000ドル近く、落ちた。

日経平均（東証。N225とも言う）は、  
24000円台だったのに、もすうぐ2万円を割る。  
たった2ヶ月で、4000円の下落だ。



それでも、このまま、ズルズルと行く。

慌（あわ）てふためいているのは、日頃、真面目に、

冷静に 本を読む能力の無い人たちだ。

おかしい業界人たちの、ポジション・トークに載せられて、  
付和雷同（ふわらいどう）して、またしてもバカな動きをする。  
今の程度の、流言飛語で右往左往する、その程度の、愚かな人たちだ。

本当の本読みで、自分の頭で考える力があって、  
私、副島隆彦の金融本を、これまで、しっかり読んで来た人たちは、  
不様（ぶざま）な、狼狽（うろた）え方は、しません。

私は、十分、余裕を持って、  
「ほら見なさい。私が、最近の金融本（11月始め刊）で  
書いたとおりの動きに、なっているではないか。

私が、予測、予言したとおりの株価の変動だ」と、書きます。

私の本を読みもしないで、噂（うわさ）話だけを耳にするか、  
SNSなどに、流れる、正体不明の、無責任な、  
言論（ 発言者が、誰だか、分からない）に、振り回される人たちだ。

副島隆彦です。どうも、ツイッター twitter などのSNSで、  
「日経平均は5000円まで下がり、阿鼻叫喚の状態になるから、  
空売りなどの下げで儲けよう」などと、馬鹿げた、

扇動文が広く出回っているらしい。

そういうデマ記事を信じて、愚かな行動に走って、  
また大損する、知能の足りない人たちが、たくさん出ている。

副島隆彦の予測では、日経平均は、2万円前後 NYダウは、  
2万2千ドルぐらいでズルズルと、このまま年を越します。

次の値下がり、来年の1月よりも2月の下落がキツいだろう。

だが、それでも、たいしたことはなく、このまま2020年の  
次の大統領選挙まで、金融市場は、多少荒れながらも続いてゆきます。

その翌年、2021年に、ちょっと大きな金融危機が、  
起きる。

トランプやムニューシン財務長官たちが、対策を立てて、  
この程度の危機は、難なく乗り切る。

これらのことを、私は、前記の

拙本「トランプ暴落 前夜」に書いた。

2020年の11月に大統領に再選されるトランプ が、

(2期目。なぜなら、対立候補は、民主党のジジイの  
人格が良いだけの、ジョー・バイデン元副大統領しか、  
今のところ、いない)

そのあとの3年間、トランプは、自信を持って、  
何とかかんとか、政権を運営する。  
金融、経済も安定させる。

だが、それでも、本当に危険なのは、2024年、  
トランプの任期(8年目)が切れる年に当たる、  
次の次の大統領選挙の年だ。

ここで、世界は大恐慌に突入するだろう。  
そのときは、主要先進国の一斉での、国家財政(ざいせい)破綻が  
起きて、それを原因にして、

世界大恐慌突入＝財政崩壊（ファイナンシャル・カタストロフィー）  
に突入するでしょう。

それまで、あと6年ある。それまでに、私たちは十分に準備できます。

私は、このことも前記の本に書いた。今からでも、私の本を  
買って、読みなさい。

投資家で、この本を、買って読む力（ちから）、  
知能、能力が無い人は、勝手に、自滅しなさい。私の知ったことではない。

私が、この本を、書き上げた、その次の日（10月10日）から、  
NYで、株式が暴落を始めた。それ以来の動きだ。

大丈夫、このまま、ずるずると行きますから。  
心配しないで、

**もう少しは、中長期（3年から5年）で、ものごとを考えなさい。**

---

---

私、副島隆彦が、この20年間、ずっと言い続け、  
本で書き続けて来たとおり、金（きん）は、金融危機、大恐慌の時にこそ、  
力を発揮する（すなわち、価格が大上昇する）。

だから、今のうちに、金を買っておきなさい、と。

1929年10月の「NY発の大恐慌」  
（ブラック・サズデイ。魔の木曜日）の時 と違って、  
6年後には、アメリカは、もう、

世界覇権（ワールド・ヘジエモニー）を手放す。

世界中の金（きん）の実物での価格を、アメリカは、  
動かす力を持っていません。

金の値段は、ロンドンと上海の黄金市場で、  
現物（げんぶつ）の値段で、現に決まりつつある。

その時には、 NYのコメックス、ナイメックス、  
そしてその親会社であるシカゴ・マーカンタイルの  
先物（さきもの）取引所（レオ・メラメッド名誉会長）の、

商品先物市場（フューチャー・コモディティ）は、  
壊れる（信用なくす）。

だから、現物の金価格を暴落させることは、出来ません。

所有者から政府が、無理矢理、  
金（きん）を取り上げることなど出来ません。

アメリカ政府（ニューヨーク連邦銀行 F R B ）は、  
もうほとんど金（きん）を持っていない  
（7万3000トン持っている、という公表数字は、ウソ）。

金の現物は、ほとんどは、  
中国とロシアや、インドなどに流れている。

日本国内の保有高も、民間に2000トンぐらいで  
たいしたことはない。

世界中に、金は45万トンぐらいある。

ワールド・ゴールド・カウンシル（WGC）という  
奇妙な団体の「世界中で金の地上在庫（地上在庫）は16万トン」  
という数字を出しているが、この発表数字は、ウソ。

どこのツイッターやSNSで、  
そのような「金も暴落させられる」という、

デマが流されているのか、私は、知りません。

どうぞ、安心して、これからも、どんどん、  
金を、現物（げんぶつ）で買って、大事にして、

出来るだけ手元で、それがダメなら銀行の貸金庫でも、  
大切に、保存、保管 してください、と、私は、  
現在、ブルブル震えてい心配している、

学問道場の会員たちに返事のメールをした。

「 来週には日経平均（N225）の他に、  
NY ダウ、ナスダックも急落し、日経も 20000 円割れが予想されます。  
暴落時の空売りは有効でしょうか？

私は、先週、財務状態が問題視されている  
ソフトバンク G を空売りして、買い戻して、ある程度の利益を得ました。

このまま株が下がり続けるなら空売りの投資戦略も  
有効かもしれません。そこまで下がる事はあり得るのでしょうか？  
土地、不動産なども今後 4, 5 か月でかなり下がるとツイートされていま  
す」

こういうことは起きません。

さらなる暴落を当込んで、空売りを掛けて、却（かえ）って、  
逆に首を締められて “ 踏み上げ ” を喰らって、

大損する人が、これから多く出るでしょう。

私は、博奕打ち（ギャンブラー）の才能は、生まれ持ったの、  
生来（インボーン）の天賦（てんぷ）の才能だから、  
その人の、適性、能力に見合った行動を取って下さい、としか、  
言いようがない。

私が、「トランプ暴落 前夜」を、ひとりで呻（うめ）き声をあげながら、  
執念で、書いていた時に、「株価が暴落を始める」と、  
考えていた人は誰もいなかった。

私は、たった一人で、孤立無援の中で、  
「もうすぐ崩れる」と、編集長に、言いながら書いた。  
書き上げて、へたり込んだ、その時に、暴落が始まった。

10月10日からあとの、NYと東京の株価の暴落の数字が、  
この本の中に、書き込まれている。

それは、編集長が、印刷屋に、入稿（にゆうこう）した  
あとの数日分を、



1 1月初めの本の発売までの最後の仕上げの時に、  
彼の判断で、最後の株価を書き入れたのだ。  
著者である私は、もう何も出来ない。

さて。 金融市場の 嵐の中で、  
孫正義（そんまさよし）の、インチキ商売の、  
1 2月19日の「ソフトバンク携帯」という会社の、

無理矢理の上場は、これは、2重価格（にじゅうかかく）、  
double valuation ダブル・ヴァリュエーション  
「同一物の 2回評価」だ。全くのインチキだ。

SBG(ソフトバンク・グループ)の株が、  
1株8000円ぐらいで上場（リステッド）されているのに、  
「スマホ携帯 の子会社の株、37%をSBGが放出して上場する」で、

“6兆円”の新たな 資金を手に入れた。  
ソフトバンクが、抱えている有利子負債（ゆうりしふさい。借金）は、  
公表されている分だけで、18兆円だ。もの凄い額だ。

みずほ銀行が主銀行で貸している。  
米スプリント を売ったわけでもないのに、売った形にして、  
「3兆円は負債を返して減らした」と言うが、本当かな。

この ソフトバンク株式会社の新規公開は、

市場で、公開売り出し価格の1500円 を下回る 1282円? の  
下落値段が付いた。

このあと、何が何でも、“失敗企業”の野村證券は、  
引き受け主幹事だから、1600円とかまで、  
1回は、つり上げるだろうが、また、崩れるだろう。

こういう巨大な、インチキ、詐欺商売を、平気で、  
東京証券取引所を脅しながらやっている。

孫正義の親分の、スティーブ・シュワルツマン  
(ブラックストーン会長) が、日本の金融大臣や財務官僚までを  
脅しあげて、こういう、インチキ上場をさせる。

だから、こういう人騙 (ひとだま) しの  
手品みたいなことばかりやっている、  
本当に、やがて資本主義 (キャピタリズム) そのものが壊れるのだ。

ダマされて、またしても、こんなヘンなのに  
手を出して大損するのは、自分だ。痛い目に遭うのは自分だ。

副島隆彦です。 続けて、全く別のことを書きます。

アメリカ政治の、  
最尖端（さいせんたん。spear head スピアヘッド）での話だ。

「ポンペイオ国務長官は、ほモ、  
おカ マ butt boy（バット・ボーイ）だ」

と ミカ・ブレジンスキーが、自分が司会のひとりを務める、  
NBCの Morning Joe で発言した。ヒエーだ。

アメリカの 政治関心人間たちの中で大騒ぎになっている。

私が、このびっくり仰天の出来事を知ったのは、  
12月16日だ。以下にその証拠の記事を載せる。

このミカ・ブレジンスキー女史の発言に、  
トランプ大統領が、怒った。

そのツイッターを載せる。2018年12月15日だ。

副島隆彦です。 このように、トランプは、  
「ミカは、人前で使ってはならない最悪のコトバ

using a certain horrible term あるいは、  
SUPER BAD choice of words を、テレビで、放言した」ことに、  
驚いて、怒っている。

トランプは、去年、そして、その前にも、ミカ・ブレジンスキーのことを、  
「父親のズビグニュー・ブレジンスキーの  
“親の七光り”で、アタマも悪いのに、  
テレビで司会業をやっているミカ」とか、

「私にインタビュー求めて来たが、私は、無視した」と、  
彼女を、からかった。

父親のズビグニュー・ブレジンスキーは、2年に、死んだ。  
ヘンリー・キッシンジャーと、ほぼ同格の、  
アメリカの最高級の世界戦略家（ワールド・ストラテジスト）だった。

それに対する、娘のミカ・ブレジンスキーからの、  
強烈な反撃が、こうして起きた。

私、副島隆彦としては、ざまあみろ、トランプ、だ。  
「偉い、ミカ・ブレジンスキー。恥を知れ、ポンペイオ」だ。

ポンペイオ国務長官が、次の、  
金正恩（キム・ジョンウン）との、米朝会談を準備している最中でのことだ。

それを、邪魔されて、赤っ恥を掻かされて、

アメリカの力を削がれることになる。

このことで、トランプは、顔をしかめたのだ。

ヨーロッパ白人たちと、旧大英帝国領で、  
アメリカ英語が実感で分かる者たちが、1億人ぐらいいる。

そしてそのうちの、世界の政治問題を、政治思想の水準で考える  
能力のある者たちが、数百万人はいる。インテリ階級の間人たちだ。  
この人たちの間でも、ポンペイオは、今、もの笑いの種になっている。

トランプからしてみれば、

「ポンペイオのバカタレめが。この大事なときに、  
こんな醜態を晒（さら）しやがって」と、ポンペイオに怒っている。

アメリカの国務長官（スイテト・セクレタリー）というのは、  
大統領に次ぐ地位だから（スペアタイアの副大統領は別）、  
歴代の慣行として、建国以来200年の伝統として、

自ずとにじみ出て、備わっているべき  
威厳（いげん。degnity デイグニティ）なるものを  
持っている人物でなければいけない。

トマス・ジェファーソン以来の慣例だ。

その備わった威厳によって、

諸外国の首脳（国王や首相）を自然に跪（ひざまづ）かせて、  
彼らを睥睨（へいげい）出来る人間でないといけない、と

アメリカ国民は、思っている。  
だから、もう、ポンペイオは、失格だ。

世界政治で、  
このデブ（米陸軍の特殊軍＝スペシャル・フォース あがり。  
昔のグリーンベレー。今はレインジャー部隊という）は、

もう、どこに行っても格好が付かない。

ミカの発言は、関係者の間では、ヒソヒソと言われて  
いたことなのだろう。

だから、彼女が、ここぞとばかり、ペロリとテレビで、  
言ってしまった。

このことで、ポンペイオは、政治家として 致命的な打撃を受けた。

私は、マイク・ポンペイオと、ジョン・ボルトン安全保障担当  
大統領補佐官のふたりだけは、

最後まで、北朝鮮の 山岳地帯の ICBM（1万キロ飛ぶ核ミサイル）  
への爆撃をやるだろうと、期待していた。

Moonie ムーニーである、南北朝鮮の、今の2つの政権は、  
世界が、何とかしなければいけないのだ。

日本の安倍政権もそうだ。ドイツの 主要政党になった  
「ドイツのための選択」 A f D (アー・エフ・デー) にも  
たくさん入っている。

だから、ポンペイオとボルトンの、  
この2人の政権幹部に対して、アメリカ国内の、  
本物の男たちからの風当たりが、今、相当に強い。

ジョン・ボルトンは、  
「ベトナム戦争に従軍しなかった、chicken hawk チキン・ホーク、  
弱虫のくせに強そうなこと（タカ派発言）だけは言うやつだ」と、

今は、期待外れで、やや蔑（さげす）まれている。  
私、副島隆彦も、この立場だ。

以下は、ネット配信 の 今や、主要な政治情報サイトである  
The Hill の記事だ。 ミカ・ブレジンスキー が、

MS(マイクロソフト)NBC の 朝の看板番組の  
Moning Joe 「モーニング・ジョー」 で 、

ポンペイオが、butt boy だ 発言の証拠だ 。

butt は、アメリカ英語で、お尻の意味。ホモ 、オカマだ。

名作映画「市民ケーン」の最後に出てきた謎の言葉、

rose bud 「バラの蕾（つぼみ）」、

すなわち、「お尻の穴」を類推させるコトバだ。

彼女は、即座に謝罪して、私は、あの時は、

water boy （ウオーター・ボーイ。 テニスや、

フットボールの試合の時の水運びとかの少年たちのこと）と

言おうとしたのよ、言い間違いでした、

超（ちょう）不適切な発言 SUPER BAD choice of words

（スーパー・バッド・チョイス・オブ・ワード） をして、

大変、大変、ゴメンナサイ、と謝罪して、言い訳した。

が、誰も、そんなことはどうでもいい。

後の祭りだ。あとには大恥を掻（か）かされた、

マイク・ポンペイオ国務長官が、ひとり残された。ざまみろ、だ。

私、副島隆彦の考えも、以下の英文の中にあるとおり、

” I was with you, @morningmika ”

「アイ・アム・ウイズ・ユー、ミカ 」

「私は、断固、君を支持する、ミカ」だ。



副島隆彦です。 私は、この時から、猛然と  
、「さあ、今こそ、副島隆彦は、自分の本来の  
政治思想研究者としての、主要な任務（天命、ベルーフ）である、  
アメリカ政治、トランプ政治のこれからに、ついでに、  
政治分析の本を書くぞ」 という気になった。

今から、突貫工事で、「トランプ政治のこれから」を書く。  
そのように決断した。そして、2月末には、本にして出す。

それが、私からの日本国民への大切な、プレゼントだからだ。  
日本国内の、自分では、高学歴の、

「自分はインテリだ。頭が良いのよ。私は、NHKの世界情報収集人間だ。  
一流新聞の記者だ。国家情報官（スパイ・マスター）の、  
世界情報の収集人間だ。

東大の政治学のアメリカ研究や、日米外交史の専門学者だ」

というような、連中こそは、私、副島隆彦の、真の読者たちである。  
私は、このことをよく知っている。

私には、彼らの顔までが、数百人、浮かぶ。今の、  
50歳代から下の、日本のインテリどもの、

政治関心人間のほとんどは、すでに、私の弟子だ。

彼らは、私に決して、近づいて来ない。

私に近づいてきたら、「あのね、君の頭の程度はね、これぐらいだよ」と、目の前で私から判定されるからだ。

それで、遠くから、ペロペロ、コソコソ、ネコ・ニャンニャンで、副島隆彦の本を、隠れて読んでいる。

日本語では他に読むに値する本がない。アメリカ始め、世界の政治の大きな真実を説明してくれる本は、

政治思想の各流派の解説を含めて、私の本以外には無い。

そういう人間たちばかりだ。

きちんと、私、副島隆彦の前に出てきて、私に弟子入りしなさい。

あるいは、自分の名前を堂々と名乗って、

「あなたのここが、気に入らない。ここが間違っている。

私は、反論する」と、私に論争を挑みなさい。

そうすれば、私は、丁寧に礼儀を尽くして、お相手します。

これまでに、コソコソと、副島隆彦の本を買って読んで、それらを自分の書棚の、奥にしまおうにも、溢（あふ）れてしまって、

困っている、お前たちの顔が、目に浮かぶよ。

私と付き合いのある、編集者たちが、目撃談で、  
このことを教えてくれる。全く、お笑いだな。

ここで、最後に、なぜ、世界大恐慌突入が、  
2024年なのか。そのことを、簡単に教えておきます。

トランプは、この2024年になったら、  
もう任期が、終わりで、万策尽きて、

「もう、オレはあとは知らん。出来ることは、全部やった。  
オレは、大きな戦争だけは、やらなかったからな」と、責任を放り投げる。

それは、今から10年前の、2008年の大統領選挙で、  
バラク・オバマという、真面目そうな黒人の男が、

どこからともなく、ふらふら と 現れた。

この黒人が、シカゴでの民主党大会で演説した。  
たった1回生の、上院議員になりたてだった。

ははあ、次は、この男だな、と、私、副島隆彦は、すぐに気づいた。

アメリカの最高支配層はすでに根回ししていて、  
この黒人を次の大統領にする計画の通り、動くな、と、  
私は、気づいて、このことを、ただちに、

このあと数冊の本に、書いて、予言した。そして、当てた。  
知っている人は、皆、このことを知っている。

まさしく、ズビグニュー・ブレジンスキーが、このお膳立てをした。

ブレジンスキーは、自分が教授をしていた、  
NYのコロンビア大学で、20歳のオバマ青年を見つけて、  
こいつを育てようと、決めたのだ。

そして、オバマが、大統領選挙に勝つ（2008年11月4日）、  
その3カ月前の、9月15日に、リーマン・ショック が起きた。

計画的に、起こされた。これも私が、予言して当てた。  
ここで、アメリカ経済は、大出血（だいしゅっけつ）を起こして、

その大手術を、新しい大統領のオバマが、緊急で対処して、  
治療する、という、計画通りに、  
このあと、2009年、2010年が、着々と進んだ。

あの2008年には、お猿さんの、  
モンチッチのブッシュ（バカ息子の方）は、大統領最後の年で、  
雲隠れして、もうメディアに出て来もしなかった。

だから、このようにアメリカは「政治と経済の両輪を、動かす」のだ。  
分かりますか？

だから、同じように、  
次は2024年のトランプが終わるとき、なの。いいですか。

ブッシュは、先々週、  
父親のブッシュ元大統領（この人は、秀才だった。  
CIA長官と中国大使をした。息子を、アホと叱ったようだ）の葬式の時に、

「完璧だった父にも、弱点はありました。  
グロッコリーを嫌って食べませんでした」と、会堂の笑いを誘った。

何と。ブッシュは、この葬儀場でミシェル・オバマ 夫人に、  
挨拶しようとして、自分のポケットの中の  
飴玉（アメ、スウィート）を揚げようとした。 カメラが捉えた。

ボケているのだ。

アメリカ南部の貴族（ブルースラッド。青い血 と言う）の  
伝統として、黒人女の使用人を、見ると、すぐに、小銭を与える、  
体に染みついた習性から、そうしたのだろう。

愛人 兼用の ご教育係（ナニー） だった、  
コンドリーサ・ライス女史を、自分の国務長官にしていた。

アメリカ政治なんて、こんなものだよ。  
日本人は、敗戦後、支配者のアメリカに、  
ずっと土下座ばかりしてきたから、彼らを、しっかり見つめて、

冷静に、考えることが出来なくなっている。  
日本人は、卑屈な民族になった、させられたのだ。

それを打ち破るために、私が、出現した。

2024年は、第2次大戦（WWII）が終わって、80年目だ。

世界は、80年周期で、動くから、だから、  
「大恐慌（財政崩壊）か、大戦争か」という大きな問題が、  
私たち人類の前に出現する。

私が、こうしてズバリと書くことを、  
分かる能力のある者だけ、分かりなさい。

さあ、最後に、以下に冒頭で書いた、  
この2ヶ月間の、株式の下落や、金融市場についての、  
最近の新聞記事、数本を、あとあとの資料として載せておきます。

副島隆彦先生の学問道場より引用

<http://www.snsi.jp/bbs/page/1/>

=====

以上です！！

それで100%はないので、

すなわちルーカスの合理的期待形成仮説  
=市場を予測できる、というものの事態を私は  
副島先生に習って否定してるので

予測というのはそもそもできないのだ、の前提なので

私は色々なシナリオを想定しております。

(それで私のメルマガでも予知とか予測という  
言葉をのせてるけど

それは識者の方々の  
商業的な理由を多くの方は察してくれるだろう  
という感じでのつけてるけど

やはり投資家で重要なのはシナリオ思想で  
その辺が一般の人と変わる点です)

その中で副島先生の見方は重要シナリオとして  
私は参考にしてるのですが

やはり副島先生の描かれる話は  
かなりの確率で現実化することがかなり  
多いので注目ですね。



それで個人的に気になるのはジャンク債市場の  
不安定さがやたら顕著になってきたなっていうことでも  
ありまして、

これもやはり2020年代前半、

ちょうどトランプ大統領が中東、極東の  
米軍問題をある程度解決した後、

本格的に崩れることは想定するようになっておりますね。

2023年なのか2024年なのかそれは  
誰にも分かりませんが

やはりこんな暴落を繰り返しながら、  
アメリカの覇権体制は終わりを迎えていくのだろうな、と。

それで上に「空売りで儲ける話がツイッターで流布されてる」  
ということですが

個人的には遅いのかなと思いますよね。

1 1月とか1 2月初期の時点で仕込んでるなら  
まだあれですけど

もう暴落してるわけですから。  
大衆が暴落と言ってる中で売ってはだめで  
大衆がのほほんとしてる時に

ショートでもオプションブット買いでも仕掛ける

というのが投機家として鉄則かと思います。

最近私が気づくこととしてどうも日本語圏の情報は  
一歩遅いことが多いということでした

暴落だ暴落だと大衆が騒げば上がりますし  
短期視点のプレイヤーばかりなのだな、ということですね。

来年あたりからそれが顕著になるだろうと思いますが  
たぶん、短期視点の人なんかはぼろ負けする人多くなりそうです。

副島先生が書かれています

「もう少しは、中長期（3年から5年）で、ものごとを考えなさい。」

ってことですが

これが本当に大事な指摘だ、と思います。

私も色々な資産家の人に来てきてるけど  
日本で超富裕層と言われる人で

短期メインの人って会ったことなく

これは誰も言わないけど、

本当のことを言うと、

短期視点の人の貧乏率は高くて

長期視点の人の富裕層率は高いのではないかと

すごい感じます。

これは富裕層だから長期視点になるのではなくて

長期視点だから変な一時の急落、暴落に

うろたえないから、冷静な判断ができるので

長期の人が結果、儲かっている人が多いのではないかと  
感じますよね。

ちなみに、インフォの塾とか教材では  
基本的には短期の決済を教えるところが多いのだけど

それこそスキャルとかデイトレですが

実はその講師さんって収益の柱は  
スイングだったりキャリートレードだったり  
するんですね。

一応生徒さんからあまりにも

「デイトレしたい」「スキャルしたい」という要望が  
多いので

それは客商売であるから教えてるだけであって

実は彼ら金持ち講師さんの本当の収益源は  
スイング以上の時間軸ですから、

やはりスイングのゆったりした姿勢を身に着けるのは  
大事だなと私は思いました。

これが実は本当の金持ちたちの保守姿勢なんけども  
副島先生がおっしゃるように  
最低でも中期以上で考えるのは大事ですね。

それでやはり私も考えてるところですが

金＝ゴールドというのは最低でも10年以上持つ覚悟で  
買うと良いのだろうと。

金なんかは今はまた上がって日本円で1グラム4900円くらい  
ですが

仮にもう少し来年、再来年下がるチャンスがあれば  
買いたいな、なんて思いますね。

ちなみに日本にいるとぜんぜん金の実需が強い  
ってのが分からないと思うのだけど

台湾なんかには私はいるけど

もう純金がどこにでも売ってますよね。  
(写真) 普通に道歩いてるとこういう純金が  
やたら目に付く

<http://fxgod.net/gazou/picture/taiwan/hodou4.JPG>



(この写真はほんと一般道の結構汚い道にあるお店だけど普通に純金ある)

最近のアジア各国では純金がやたら売れてるというのが  
感覚的に私が感じるところだけど

けど、NY先物で売り崩されてるから安いっていう  
面白い価格決めが金=ゴールドの特徴なんだけど

### 先物+実需

で実需強いのに、先物で売り崩されて価格が上がらないように  
抑えられてるのが金ですね。

それで金とアメリカドルは敵対関係ですので

やはり米ドルが駄目になるとき、

まさに金が輝くシナリオは想定しておくべきだ  
と私は考えてます。

あとは金を保有する私が発見したメリットがあつて  
それが「**長期投資の考え方が分かる**」ですね。

長期でずーっと金を持ってるとゆったりした  
長期の視点ってのが**体感**で分かってくるので

あまり小さな値動きとか暴騰暴落でも  
「ふーん」くらいで見られるんです。

だから副島先生が書かれてるけど金なんかは

もし1000ドル付近に下落するチャンスが将来あれば  
買いたいところですよ。

それでこの副島先生が書かれてる

> 金の現物は、ほとんどは、  
中国とロシアや、インドなどに流れている。

これはガチだと私は見てます。



これは海外で金を買う場合、もう必ずといっていいほど  
最近では華僑系を通さないと買えなくなってますね。

ちなみに金売買ほど最近厳密になってるものではなくて  
もう買うためには各国ではあらゆる書類にサインして

身元確認取られてようやく買えるくらいの感じでした

金を買うのは簡単でなくなっているのが現状です。

唯一金を簡単に買えるのは日本や韓国くらいではないか  
とも思います。

ただ日本でもいずれみんな金の希少性、重要度に気づいて  
店頭では買えなくなるのではないかと、なんてのも  
私が見てる未来です。

それで私が副島先生の上記の文章みて  
すごい驚いたのが

「暴落時の空売りは有効でしょうか？」と、他人に  
聞く人がいる、ということです。

どうも、自分ではなく他人に、人に投資判断を求める人が  
日本の大多数を占めるのだろう、ということで

これが実は私が驚いたことです。

未来なんて予測できないのですから

そんなの自分で判断してシナリオをある種  
主観で作り上げて

損失小さく利益伸ばすしか  
ないはずなのですが

それをなぜか人に聞く人が多いということで  
これが実は資本主義の「穴」なんですね。

これは私の本音を本当に書きちゃうけど

たぶん自分で判断できないということはお子様なんです。

逆を言うと大多数が自分で判断できないお子様状態である  
というのが日本の現状であるわけですが

大人は自分で判断しますよね。

一方、サンタクロースを信じたまま大人になってしまった人  
というのはいちど多い。

そうなるとうサンタクロースの代わりに預言者を求めるのだらう。

だからお子様が多くて大人が少ないというのが  
日本の市場の現状なのだらうということて

実はこれが勝機ですよね。

自分で判断できない人が多数ならば、

自分で判断できる自立心持った人にどんどん

富が集まるのは必然、と言えるわけです。

その辺に気づけるかどうかなのだらう  
というのも私が感じた点ですね。

それで私は予測も予知もしませんので

将来なんて分からないけど

シナリオ立ててそれに乘っていく、

というスタンスでしかないのですが

とりあえず大きな流れとしてはトランプ任期まで  
相場は持つ可能性はあるけど

トランプ任期最終の2020年代前半で  
大崩れというシナリオは知っておいて

仮にそれが起こっても大丈夫なように対策する  
のは大事ですね。

それで大きな月足のダウで見るとドル円なんかも  
上昇トレンドは崩れてないですから  
(小さい時間足では下落だろうけども。)

そういうのも大きな視点で冷静にみるのは大事ですね～

逆に、騒いでるのは短期視点で見てる人たちばかりだったり  
します。

金とかゴールド買って長期視点で分散してたりする人は  
実はあまり今回の暴落は騒いでなかったりするんで、  
むしろプット買って大もうけしてる人もいるわけで

そういう落ち着いた姿勢は大人の姿勢として  
身に着けるベクトルで考えていくとよさそうですね。

副島先生の書籍は最初はちょっと難しいかもだけど  
そういう姿勢が身につきます。

私なんかは海外にいるから彼の書籍が電子書籍化されたら  
発売日当日に買って発売日に読みきってるくらい  
ファンですが

副島先生の本なんかも勉強になるから  
長期で世界を見渡す知恵を授けてくれるものだから

読んでみるのを個人的にはおススメします。

ちなみに、私は冷静に判断するけども、  
副島先生が数年前に言論闘争していたのが

「中国は崩壊するか（産経や正論の視点）」  
「いや、中国はもっと大国になっていく（副島隆彦）」  
でした。

私が副島先生を読み出したのは私なんかは  
学生時代とか中国系の人に接して  
頭の良さに驚いたことがあって

「この国はこんなのが沢山いるからくるな」  
なんてのがあったけど

世間では中国は崩壊するなんて

言われていたんですけど  
そこで一人で中国はもっと大国になる  
と断言してたのが副島先生でした。

この超重要論争は10年以上続いたけど  
副島先生の勝ちでした。

一方日本のマスコミは大敗だ。

それで

短期の数ヶ月とか1年だけではなくて  
10年後20年後にあなたが資産家になるように  
長期で見渡すというのは大事な視点ですよ。

以前そういえば中森社長が言ってましたが

短期の視点はなかなか実現しないけど  
長期の視点は実現しやすいものですね。

それでは！

ゆう

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX新案件！】

自動売買ソフトは買ってはいけません。

ある仕組みを使うと  
通常5万円の自動売買ソフトが  
100ソフト以上、無料で使えます。

この仕組みを使って  
月収500万円を稼ぎ続けている人がいます。

今すぐ確認してみましょう。

【5万円の自動売買ソフトが100ソフト以上、無料に！】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/26/>

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆